

事務事業コード	765110	事務事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	業務第1グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	2	住宅環境の整備		内線番号	2912
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 10 年度 ~ 平成 27 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	2	土地区画整理費		
コード	765110				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
合併施行中の浜之市土地区画整理事業との連携により事業の進捗がスムーズになるため平成10年度に認可を受け、平成11年度から事業を実施している。 既成市街地において、快適な居住空間の創出、都市機能の更新、特に密集市街地の整備改善を図るため、浜之市土地区画整理事業との合併施行で行われる公共施設の整備改善を含む総合的な市街地整備を目的とした事業である。	風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、事業対象者から早期の除却を望む声が多い。	特になし

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 浜之市地区の老朽住宅	地区内の老朽建築物の買収・除却を実施することにより、密集市街地を整備改善する	ゆとりある住宅を確保できる
イ		

全体計画 (H10 ~ H27)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
都市再生住宅の建設(全5棟) 駐車場整備 老朽建築物の買収・除却 除却に伴う設計・建物調査 児童遊園設計・建設 その他公共設備の整備	都市再生住宅の建設5棟建設済み(C棟・D棟・E棟・A棟・B棟) 老朽建築物の買収計72戸 老朽建築物の除却76戸 除却に伴う設計及び建物調査89戸 児童遊園の実施設計1件	老朽建築物の買収・除却2戸2棟 除却に伴う設計及び調査2戸2棟	除却に伴う設計及び建物調査2戸4棟 児童遊園建設 緑地(緑道)整備 5本 耐震性貯水槽整備 1基
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
老朽建築物の買収・除却 耐震性貯水槽及び備蓄倉庫整備	老朽建築物の買収・除却 集会施設実施設計及び整備		

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H10 ~ H27)			
	単独	補助	合計
国		1,295,454	1,295,454
県			
地方債	163,100		
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
都市計画事業債	163,100		163,100
その他		116,232	116,232
一般財源	92,506	854,552	947,058
計	255,606	2,266,238	2,521,844

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	83,546	82,862	▲ 684	1% 減
補正予算額	-17,508		---	---
予算合計	66,038	82,862	16,824	25% 増
国庫補助金	15,019	31,440	16,421	109% 増
県支出金				
地方債				
その他	9,783	10,150	367	4% 増
一般財源	5,258	41,272	36,014	685% 増
支出合計	30,060	82,862	52,802	176% 増

単位:千円

事務事業コード	765110	事務事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区分	全体計画 (H 10 ~ H 27)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	都市再生住宅の建設(全5棟) 駐車場整備 老朽建築物の買収・除却 除却に伴う設計・建物調査 児童遊園設計・建設 その他公共設備の整備			都市再生住宅の建設5棟建設済み (C棟・D棟・E棟・A棟・B棟) 老朽建築物の買収計72戸 老朽建築物の除却76戸 除却に伴う設計及び建物調査89戸 児童遊園の実設計1件			老朽建築物の買収・除却2戸2棟 除却に伴う設計及び調査2戸2棟			除却に伴う設計及び建物調査2戸 4棟 児童遊園建設 緑地(緑道)整備 5本 耐震性貯水槽整備 1基			
1 報酬													
2 給料	18,630	2,360	20,990	18,630	2,360	20,990							
3 職員手当等	9,884		9,884	9,884		9,884							
4 共済費	7,283		7,283	7,283		7,283							
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	168	275	443	168	275	443							
10 交際費													
11 需用費	1,370	4,360	5,730	1,370	4,360	5,730							
消耗品費	886	3,560	4,446	886	3,560	4,446							
燃料費	99	800	899	99	800	899							
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料	385		385	385		385							
12 役務費	868		868	868		868							
通信運搬費													
広告料													
手数料	132		132	132		132							
保険料	736		736	736		736							
13 委託料	40,579	59,016	99,595	38,461	47,375	85,836	18	360	378	600	6,400	7,000	
14 使用料及び賃借料	455	1,840	2,295	455	1,840	2,295							
15 工事請負費	133,466	917,211	1,050,677	110,002	705,304	815,306		2,730	2,730	19,381	56,481	75,862	
16 原材料費													
17 公有財産購入費	20,142	678,448	698,590	15,470	521,921	537,391	3	15,288	15,291				
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	1,807		1,807	1,807		1,807							
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	20,954	602,728	623,682	16,932	467,103	484,035	1	11,660	11,661				
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	255,606	2,266,238	2,521,844	221,330	1,750,538	1,971,868	22	30,038	30,060	19,981	62,881	82,862	
財源内訳	国		1,295,454	1,295,454		939,852	939,852		15,019	15,019		31,440	31,440
	県												
	地方債	163,100		163,100	163,100		163,100						
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	都市計画事業債	163,100		163,100	163,100		163,100						
	その他		116,232	116,232		50,196	50,196		9,783	9,783		10,150	10,150
一般財源	92,506	854,552	947,058	58,230	760,490	818,720	22	5,236	5,258	19,981	21,291	41,272	
計	255,606	2,266,238	2,521,844	221,330	1,750,538	1,971,868	22	30,038	30,060	19,981	62,881	82,862	
補助率	国	—			—			1/2			1/2		
	県	—			—			—			—		
補助基本額	—			—			—			—			

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	83,546	第1回		第4回		第7回	
補正予算	(17,508)	第2回		第5回		第8回	(17,508)
合計	66,038	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	765110	事務事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	老朽建築物の買収・除却 耐震性貯水槽及び備蓄倉庫整備			老朽建築物の買収・除却 集会施設実施設計及び整備									
1 報酬													
2 給料													
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費													
10 交際費													
11 需用費													
消耗品費													
燃料費													
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役務費													
通信運搬費													
広告料													
手数料													
保険料													
13 委託料	500		500	1,000	4,881	5,881							
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	981	23,198	24,179	3,102	129,498	132,600							
16 原材料費													
17 公有財産購入費	1,000	39,059	40,059	3,669	102,180	105,849							
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	1,024	43,500	44,524	2,997	80,465	83,462							
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	3,505	105,757	109,262	10,768	317,024	327,792							
財源内訳	国		77,285	77,285		231,858	231,858						
	県												
	地方債												
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	都市計画事業債												
	その他		11,525	11,525		34,578	34,578						
一般財源	3,505	16,947	20,452	10,768	50,588	61,356							
計	3,505	105,757	109,262	10,768	317,024	327,792							
補助率	国	1/2			1/2			1/2					
	県	—			—			—					
補助基本額													

事務事業 コード	765110	事務 事業名	住宅市街地総合整備事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地区画整理事業により、良好な宅地として整備され、結果的にゆとりある宅地を確保できるため、政策体系との整合はとれている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	住宅総合整備事業で老朽住宅が除却され、土地区画整理事業の促進でゆとりある宅地を確保することに繋がるため、市が行うことは妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	都市再生住宅が整備された事により、老朽建築物の除却も進み、さらに浜之市土地区画整理事業との連携により、順調に進捗している。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	老朽住宅が多く残っているため、廃止・休止の場合、防災面で非常に心配される。また、合併施行で行われている浜之市土地区画整理事業の進捗にも影響を与える。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	工法を見直すことにより、すでに事業費削減を図っている。また、早期完成による投資効果を上げる方法が考えられるが、地権者との相互理解を得ながら進める事業であり、完成までの期間は長期間にわたると予想される。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在職員1人で対応しており、建物調査等は既にアウトソーシングを取り入れているため、削減の余地がない。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	対象が浜之市地区の老朽住宅と限定されているが、整備される公共施設は多くの市民が使用するので公平である。都市再生住宅については、事業が終了した後は市民全体に解放する予定である。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	浜之市地区の生活基盤の推進を図り、住環境水準を高めて魅力的な市街地整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	765113	事務事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	業務第3グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	2	住宅環境の整備		内線番号	2915・2916
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 34 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	2	土地区画整理費		
コード	765113				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
住民より道路、公園、水路等の整備を望む声が多数あり、平成10年度にアンケート調査を行い、区画整理事業を導入し、一体的に整備することになった。 当該地区は、ミニ開発や共同住宅の建築が行われ、有効な土地利用が出来なくなっているため、周辺の商業、業務機能の強化のため土地区画整理事業により都市基盤施設の整備を行い、人でにぎわう都市空間を形成する。	事業の早期着手を望む意見が多いが、一部慎重な住民もいる。	・減歩率の引き下げ ・市の発展のためにも、早期着手・完成を望む

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 隼人駅東地区内の区画整理対象区域	良好な宅地として整備される	ゆとりある住宅を確保できる
イ		

全体計画 (H18 ~ H34)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
隼人駅東地区土地区画整理事業 施行面積: 13.1ha	実施計画・事業計画作成 土地評価、画地測量 減歩緩和対策 換地設計 土地評価基準等作成	仮換地指定 建物調査	事業計画・実施計画変更 仮換地指定 建物調査 交差点協議道路設計
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
補償交渉 建物調査 建物補償 仮換地指定	本工事 建物補償 建物調査	本工事 建物補償 建物調査	本工事 建物補償 建物調査

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H18 ~ H34)			
	単独	補助	合計
国		1,103,700	1,103,700
県			
地方債		1,529,400	
辺地債			
過疎債			
合併特例債		16,000	16,000
都市計画事業債		1,513,400	1,513,400
その他		384,000	384,000
一般財源	417,103	650,900	1,068,003
計	417,103	3,668,000	4,085,103

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	31,000	45,032	14,032	45% 増
補正予算額	-11,654		---	---
予算合計	19,346	45,032	25,686	133% 増
国庫補助金	7,623	23,654	16,031	210% 増
県支出金				
地方債	6,900	17,600	10,700	155% 増
その他				
一般財源	723	3,778	3,055	423% 増
支出合計	15,246	45,032	29,786	195% 増

単位:千円

事務事業コード	765113	事務事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区分	全体計画 (H 18 ~ H 34)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	隼人駅東地区土地区画整理事業 施行面積:13.1ha			実施計画・事業計画作成 土地評価、画地測量 減歩緩和対策 換地設計 土地評価基準等作成			仮換地指定 建物調査			事業計画・実施計画変更 仮換地指定 建物調査 交差点協議道路設計			
1 報酬	52		52	52		52							
2 給料	20,945	3,198	24,143	20,945	3,198	24,143							
3 職員手当等	11,793		11,793	11,793		11,793							
4 共済費	7,062		7,062	7,062		7,062							
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	123	303	426	123	303	426							
10 交際費													
11 需用費	224	1,209	1,433	224	1,209	1,433							
消耗品費	218	906	1,124	218	906	1,124							
燃料費	4	155	159	4	155	159							
食料費													
印刷製本費	2	148	150	2	148	150							
光熱水費													
修繕料													
12 役務費	179	230	409	179	230	409							
通信運搬費		230	230		230	230							
広告料													
手数料	179		179	179		179							
保険料													
13 委託料	31,170	767,346	798,516	50	107,473	107,523		15,246	15,246		45,032	45,032	
14 使用料及び賃借料	39	60	99	39	60	99							
15 工事請負費	10,300	513,237	523,537										
16 原材料費													
17 公有財産購入費	301,523		301,523	301,523		301,523							
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	393		393	393		393							
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	33,300	2,382,417	2,415,717	8,800		8,800							
23 償還金利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費													
28 繰出金													
計	417,103	3,668,000	4,085,103	351,183	112,473	463,656		15,246	15,246		45,032	45,032	
財源内訳	国		1,103,700	1,103,700		57,850	57,850		7,623	7,623		23,654	23,654
	県												
	地方債		1,529,400	1,529,400		24,000	24,000		6,900	6,900		17,600	17,600
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債		16,000	16,000		16,000	16,000						
	都市計画事業債		1,513,400	1,513,400		8,000	8,000		6,900	6,900		17,600	17,600
	その他		384,000	384,000									
一般財源	417,103	650,900	1,068,003	351,183	30,623	381,806		723	723		3,778	3,778	
計	417,103	3,668,000	4,085,103	351,183	112,473	463,656		15,246	15,246		45,032	45,032	
補助率	国	—		—		—		—		0.5、0.55		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額	—		—		—		—		—		—		

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	31,000	第1回		第4回		第7回	
補正予算	(11,654)	第2回		第5回		第8回	(11,654)
合計	19,346	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業 コード	765113	事務 事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	補償交渉 建物調査 建物補償 仮換地指定			本工事 建物補償 建物調査			本工事 建物補償 建物調査			本工事 建物補償 建物調査			
1 報 酬													
2 給 料													
3 職員手当等													
4 共 済 費													
7 賃 金													
8 報 償 費													
9 旅 費													
10 交 際 費													
11 需 用 費													
消耗品費													
燃 料 費													
食 料 費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料													
12 役 務 費													
通信運搬費													
広 告 料													
手 数 料													
保 険 料													
13 委 託 料	2,800	60,000	62,800	3,700	80,000	83,700	1,000	30,000	31,000	23,620	429,595	453,215	
14 使用料及び賃借料													
15 工事請負費	1,000	50,000	51,000	1,000	50,000	51,000	2,000	100,000	102,000	6,300	313,237	319,537	
16 原 材 料 費													
17 公有財産購入費													
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金													
20 扶 助 費													
21 貸 付 金													
22 補償補填及び賠償金	2,000	195,000	197,000	2,500	255,000	257,500	6,200	620,000	626,200	13,800	1,312,417	1,326,217	
23 償還金・利子・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積 立 金													
26 寄 附 金													
27 公 課 費													
28 繰 出 金													
計	5,800	305,000	310,800	7,200	385,000	392,200	9,200	750,000	759,200	43,720	2,055,249	2,098,969	
財源内訳	国		117,500	117,500		160,500	160,500		187,500	187,500		549,073	549,073
	県												
	地方債		158,600	158,600		193,200	193,200		268,800	268,800		860,300	860,300
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	都市計画事業債		158,600	158,600		193,200	193,200		268,800	268,800		860,300	860,300
	その他								125,000	125,000		259,000	259,000
一般財源	5,800	28,900	34,700	7,200	31,300	38,500	9,200	168,700	177,900	43,720	386,876	430,596	
計	5,800	305,000	310,800	7,200	385,000	392,200	9,200	750,000	759,200	43,720	2,055,249	2,098,969	
補助率	国	0.5、0.55			0.5、0.55			0.5、0.55			0.5、0.55		
	県	—			—			—			—		
補助基本額													

事務事業コード	765113	事務事業名	隼人駅東土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地区画整理事業により、都市基盤施設の整備を行い、健全な市街地の形成を図ることは、政策体系に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	宅地及び公共施設の総合的な面整備を行うことにより、JR隼人駅の東口として拠点市街地の形成を促進させ、都市の発展が図られるため、市が行うことは妥当である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	当初全体計画(23.1ha)時は、地区北側の都市計画決定に際し、一部関係権利者の理解が得られず時間を要したが、区域分割(13.1ha)決定後は、早期完成が望まれており順調に進んでいる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	平成13年度から説明会等を行い、事業の早期着手、完成を望む声が多くなった現在、公共施設等が未整備なままの事務事業廃止は、地区住民の生活に多大な影響を及ぼすものと考えられる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	移転補償費削減のため、換地を検討する。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	既にアウトソーシングを取り入れ換地設計、事業計画作成を行っている。今後も他地区と同様に、建物調査等についてアウトソーシングを取り入れていく。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	整備後の公共施設等の便益は市民が共有するものであり、また、地権者は減歩という形で受益者負担を受けるので、整備による受益と公平な負担がある。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	仮換地指定を一部行ったが、理解を得られない部分もあった。今後も事業を効率的に進め、JR隼人駅の東口を新しい交通拠点とした中心市街地の形成を図るとともに、霧島市の交通体系の機能強化を図っていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	765112	事務事業名	浜之市土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	業務第1グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	2	住宅環境の整備		内線番号	2912
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 9 年度 ~ 平成 27 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	2	土地区画整理費		
コード	765112				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
平成元年に浜之市地区の住民から区画整理事業の要望があり、平成2年度にまちづくり基本調査を、平成3年度に区画整理事業調査を行い、平成5年2月に事業推進協議会が設立され、事業実施に向け動き出した経緯がある。 本地区は国道10号沿線、単人港(通称 浜之市港)を中心に発展してきた既成市街地であるが、地区内の道路は狭く緊急車両の進入が困難であり、また単人港付近については宅地規模の小さい過密住宅地(要移転戸数340戸)であり、現在は公園などはない状態にある。このため、都市計画道路・区画街路等整備や公園等の整備と合わせ、土地利用の増進及び、安全で快適な住宅地の供給を図り、既成市街地の再生と地域の発展を目的とした区画整理事業を行う。	区画整理区域内の事業対象者より、風水害等で影響があると思われる老朽住宅が多いため、早期の事業完成を望む声が多く聞かれる。	特になし

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 浜之市地区内の区画整理対象区域	道路・公園等の公共施設の整備を行い、土地利用の増進を図り、居住環境の良い市街地の形成を図る。	ゆとりある住宅を確保できる
イ 同区域内の土地権利者		

全体計画 (H9 ~ H27)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
平成9年 事業計画決定 平成12年 実施計画の承認 本工事着工 仮換地指定・建物等移転補償開始 平成28年 本工事概成(予定) 換地処分公告(予定)	事業の進捗率は、平成23年度末の事業費ベースで約72% 仮換地指定は約93%の指定率となり、成果が上がっている。区画道路の建設や宅地整地も進み、新築家屋が増えてまちなみが変わりつつある。(※街路築造工事72,593,000円・建物等移転補償8件193,232,000円についてはH24に繰越)	区画街路築造延長 465m 宅地整地面積 6,800㎡ 建物調査 2件3棟 建物等移転補償 35件16棟 事業進捗率 77% (※建物調査等7,002,000円・街路築造工事41,353,000円・建物等移転補償10件90,858,000円についてはH25に繰越)	区画街路築造延長 300m 宅地整地面積 3,000㎡ 建物等移転補償 14件20棟 仮換地指定通知作成 建物調査 5件7棟
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
区画街路築造工事 宅地整地工事 建物等移転補償	区画街路築造工事 宅地整地工事 建物等移転補償		

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H9 ~ H27)			
	単独	補助	合計
国		2,356,700	2,356,700
県		78,746	78,746
地方債	2,462,167	1,295,633	
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
都市計画事業債	2,462,167	1,295,633	3,757,800
その他	19,590	245,746	265,336
一般財源	1,173,212	223,206	1,396,418
計	3,654,969	4,200,031	7,855,000

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	723,625	578,213	▲ 145,412	20% 減
補正予算額	-100,980		---	---
予算合計	622,645	578,213	▲ 44,432	7% 減
国庫補助金	93,775	139,316	45,541	49% 増
県支出金	3,078	4,380	1,302	42% 増
地方債	301,100	334,100	33,000	11% 増
その他	1,908	10,700	8,792	461% 増
一般財源	80,074	89,717	9,643	12% 増
支出合計	479,935	578,213	98,278	20% 増

単位:千円

事務事業 コード	765112	事務 事業名	浜之市土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区 分	全体計画 (H9 ~ H27)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	平成9年 事業計画決定 平成12年 実施計画の承認 本工事着工 仮換地指定・建物等移 転補償開始 平成28年 本工事概成(予定) 換地処分公告(予定)			事業の進捗率は、平成23年度末 の事業費ベースで約72% 仮換地指定は約93%の指定率とな り、成果が上がっている。区画道路 の建設や宅地整地も進み、新築家 屋が増えてまちなみが変わりつつあ る。(※街路築造工事72,593,000 円・建物等移転補償8件 193,232,000円についてはH24に繰 越)			区画街路築造延長 465m 宅地整地面積 6,800㎡ 建物調査 2件3棟 建物等移転補償 35件16棟 事業進捗率 77% (※建物調査等7,002,000円・街路 築造工事41,353,000円・建物等移 転補償10件90,858,000円につい てはH25に繰越)			区画街路築造延長 300m 宅地整地面積 3,000㎡ 建物等移転補償 14件20棟 仮換地指定通知作成 建物調査 5件7棟			
1 報 酬	133		133	133		133							
2 給 料	141,890	211,392	353,282	141,890	211,392	353,282							
3 職員手当等	28,461		28,461	28,461		28,461							
4 共 済 費	17,893		17,893	17,893		17,893							
7 賃 金	99	850	949	99	850	949							
8 報 償 費													
9 旅 費	162	440	602	162	440	602							
10 交 際 費													
11 需 用 費	4,718	303,654	308,372	4,718	303,654	308,372							
消耗品費	3,863	303,254	307,117	3,863	303,254	307,117							
燃 料 費	216	400	616	216	400	616							
食 料 費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料	639		639	639		639							
12 役 務 費	324	390	714	324	390	714							
通信運搬費	8	390	398	8	390	398							
広 告 料													
手 数 料													
保 険 料	316		316	316		316							
13 委 託 料	334,129	239,660	573,789	288,329	137,660	425,989	4,273		4,273	10,502	2,000	12,502	
14 使用料及び賃借料	1,089	1,074	2,163	1,089	1,074	2,163							
15 工事請負費	968,624	125,221	1,093,845	528,116	13,621	541,737	56,114	52,650	108,764	166,403	58,950	225,353	
16 原 材 料 費	109		109	109		109							
17 公有財産購入費	257,075		257,075	257,075		257,075							
18 備品購入費													
19 負担金補助・交付金	132		132	132		132							
20 扶 助 費													
21 貸 付 金													
22 補償補填及び賠償金	1,900,123	3,317,350	5,217,473	1,425,426	2,324,449	3,749,875	241,500	125,398	366,898	148,007	192,351	340,358	
23 償還金・利息・割引料													
24 投資及び出資金													
25 積 立 金													
26 寄 附 金													
27 公 課 費	8		8	8		8							
28 繰 出 金													
計	3,654,969	4,200,031	7,855,000	2,693,964	2,993,530	5,687,494	301,887	178,048	479,935	324,912	253,301	578,213	
財源内訳	国		2,356,700	2,356,700		1,611,125	1,611,125		93,775	93,775		139,316	139,316
	県		78,746	78,746		54,366	54,366		3,078	3,078		4,380	4,380
	地方債	2,462,167	1,295,633	3,757,800	1,870,300	1,181,833	3,052,133	265,100	36,000	301,100	256,300	77,800	334,100
	辺地債												
	過疎債												
	合併特例債												
	都市計画事業債	2,462,167	1,295,633	3,757,800	1,870,300	1,181,833	3,052,133	265,100	36,000	301,100	256,300	77,800	334,100
	その他	19,590	245,746	265,336	6,982		6,982	1,908		1,908	10,700		10,700
一般財源	1,173,212	223,206	1,396,418	816,682	146,206	962,888	34,879	45,195	80,074	57,912	31,805	89,717	
計	3,654,969	4,200,031	7,855,000	2,693,964	2,993,530	5,687,494	301,887	178,048	479,935	324,912	253,301	578,213	
補助率	国	—			—			0.5,0.55			0.5,0.55		
	県	—			—			3/30			3/30		
補助基本額	—			—			178,048			253,301			

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	723,625	第1回		第4回		第7回	
補正予算	(100,980)	第2回		第5回		第8回	(100,980)
合計	622,645	第3回		第6回			

財務シート

<施設整備・設備整備・道路整備用>

単位:千円

事務事業コード	765112	事務事業名	浜之市土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	区画街路築造工事 宅地整地工事 建物等移転補償			区画街路築造工事 宅地整地工事 建物等移転補償								
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料	15,000	50,000	65,000	16,025	50,000	66,025						
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	100,000		100,000	117,991		117,991						
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金	42,000	337,000	379,000	43,190	338,152	381,342						
23 償還金・利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	157,000	387,000	544,000	177,206	388,152	565,358						
財源内訳	国		256,000	256,000		256,484	256,484					
	県		8,000	8,000		8,922	8,922					
	地方債	35,000		35,000	35,467		35,467					
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	都市計画事業債	35,000		35,000	35,467		35,467					
	その他		123,000	123,000		122,746	122,746					
一般財源	122,000		122,000	141,739		141,739						
計	157,000	387,000	544,000	177,206	388,152	565,358						
補助率	国	0.5, 0.55		0.5, 0.55								
	県	3/30		3/30								
補助基本額	227,586		204,894									

事務事業コード	765112	事務事業名	浜之市土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地区画整理事業により、良好な宅地として整備され、結果的にゆとりある宅地を確保できるため、政策体系との整合はとれている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	市施行の事業であり、区画整理を行うことで公共施設(道路・公園・下水道等)の早期整備を図っている。これらの円滑な進捗及び効率化のためには行政が主体で推進する必要がある。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	住宅市街地総合整備事業との合併施工により、効果的な手法で計画的に進んでいる。区画道路の建設や宅地整地も進み、まちなみが変わりつつある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止・休止の場合、事業に同意しているにも関わらず、未施行となる方が犠牲を被ることとなる。また、事業の精算が出来なくなり、最終的には市が肩代わりしなくてはならない可能性も出てくる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	区域が限定されていることや、事業内容の特性から本事業の統廃合はできないが、工法を見直すことにより事業費削減を図っている。また、早期事業完成による投資効果を上げる方法が考えられる。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	現在、建物調査等でアウトソーシングを取り入れている。事業全体に関しては、早期完成を行うことが業務時間削減に繋がる。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	事業区域は浜之市地区に限定されているが、整備される公共施設(道路・公園等)は多くの市民が使用するもので公平である。地権者からは区画整理事業を行うにあたり、減歩という形での受益者負担を既にしてもらっている。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	この地区の生活基盤の推進を図り、住環境水準を高めて魅力的な市街地整備を進めていく。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	

事務事業コード	765111	事務事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課
政策名	1	快適で魅力あるまちづくり		グループ	業務第2グループ
施策名	1	生活基盤の充実		電話番号	45-5111
基本事業名	2	住宅環境の整備		内線番号	2913
予算科目	会計	一般会計		事業期間	平成 5 年度 ~ 平成 28 年度
	款	8	土木費		
	項	5	都市計画費	根拠法令・条例等	特になし
	目	2	土地区画整理費		
コード	765111				
関連計画					

1. 現状把握 (1)事務事業の目的 <Do>

① 事業開始の理由及び事業の概要	② 事業に対する意見・要望 (誰からの意見か明記)	③ 事業に対する議会から出された意見
麓第一地区を対象に空港前の住宅地として、健全な市街地(42.5ha)の形成を図る。排水が確保されかつ地権者の了承が得られた区域から整備を行っている。現在は、受益者から減歩として提供された保留地(宅地)の販売も行っている。販売方法は、空港及び周辺の企業に勤める従業員への営業活動・霧島市広報誌への掲載・インターネットによるホームページでの紹介・鹿児島県宅地建物取引業協会の媒介などを行っている。空港に近く、幼稚園、小・中学校、病院、駐在所、高速インターなどの公共施設の整った宅地としてPRしており、1区画が標準で85坪(570万円程度)である。	事業対象者及び事業区域近隣住民より、事業の早期完成を要望。	特になし。

③ 対象 (誰、何を対象にしているのか)	④ 意図 (対象をどうしたいのか)	⑤ 結果 (どんな結果に結びつけるのか)
ア 麓第一地区	良好な宅地として整備される	ゆとりある住宅を確保できる
イ		

全体計画 (H5 ~ H28)	平成23年度までの実施状況	平成24年度実績	平成25年度計画
都計道路築造A = 54,369㎡ 区画道路築造A = 53,950㎡ 特殊道路築造A = 1,133㎡ 水路築造 A = 2,862㎡ 宅地整地 A = 298,912㎡ 建物移転補償 109戸249棟	都計道路築造A = 39,984㎡ 区画道路築造A = 35,656㎡ 水路築造 A = 2,806㎡ 宅地整地 A = 210,358㎡ 建物移転補償 106戸248棟 (※都市計画道路築造工事及び区画道路築造工事95,566,750円、建物移転補償2件16,455,700円についてはH24に繰越)	都計道路築造A = 6,400㎡ 区画道路築造A = 3,000㎡ 宅地整地 A = 10,000㎡	都計道路築造A = 4,000㎡ 区画道路築造A = 4,000㎡ 宅地整地 A = 20,000㎡ 建物移転補償 1戸1棟
平成26年度計画	平成27年度計画	平成28年度計画	平成29年度以降計画
都計道路築造A = 1,585㎡ 区画道路築造A = 4,000㎡ 宅地整地 A = 20,000㎡	都計道路築造A = 944㎡ 区画道路築造A = 5,575㎡ 宅地整地 A = 20,000㎡	宅地整地 A = 23,394㎡	

(2)事業費

単位：千円

単位：千円

全体計画 (H5 ~ H28)			
	単独	補助	合計
国		1,671,041	1,671,041
県			
地方債	2,178,107	100,471	
辺地債			
過疎債			
合併特例債			
都市計画事業債	2,178,107	100,471	2,278,578
その他			
一般財源	2,829,738	1,413,115	4,242,853
計	5,007,845	3,184,627	8,192,472

	H 24年度 決算 (A)	H 25年度 計画 (B)	前年度比較 (B)-(A)	
当初予算額	242,710	223,202	▲ 19,508	8% 減
補正予算額	653		---	---
予算合計	243,363	223,202	▲ 20,161	8% 減
国庫補助金	32,619	54,550	21,931	67% 増
県支出金				
地方債	86,093	126,486	40,393	47% 増
その他				
一般財源	43,451	42,166	▲ 1,285	3% 減
支出合計	162,163	223,202	61,039	38% 増

単位:千円

事務事業コード	765111	事務事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

区分	全体計画 (H5 ~ H28)			平成23年度までの 実施状況			平成24年度 (実績)			平成25年度 (計画)			
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	
事業内容 事業量	都計道路築造A= 54,369㎡ 区画道路築造A= 53,950㎡ 特殊道路築造A= 1,133㎡ 水路築造 A= 2,862㎡ 宅地整地 A=298,912㎡ 建物移転補償 109戸249棟			都計道路築造A=39,984㎡ 区画道路築造A=35,656㎡ 水路築造 A= 2,806㎡ 宅地整地 A=210,358㎡ 建物移転補償 106戸248棟 (※都市計画道路築造工事及び区 画道路築造工事95,566,750円、建 物移転補償2件16,455,700円につ いてはH24に繰越)			都計道路築造A= 6,400㎡ 区画道路築造A= 3,000㎡ 宅地整地 A=10,000㎡			都計道路築造A= 4,000㎡ 区画道路築造A= 4,000㎡ 宅地整地 A=20,000㎡ 建物移転補償 1戸1棟			
1 報酬	3,142		3,142	3,142		3,142							
2 給料		98,360	98,360		98,360	98,360							
3 職員手当等													
4 共済費													
7 賃金													
8 報償費													
9 旅費	20		20	20		20							
10 交際費													
11 需用費	3,392	33,610	37,002	3,392	33,610	37,002							
消耗品費	1,833	32,881	34,714	1,833	32,881	34,714							
燃料費	1,291	508	1,799	1,291	508	1,799							
食料費													
印刷製本費													
光熱水費													
修繕料	268	221	489	268	221	489							
12 役務費	1,964	200	2,164	1,964	200	2,164							
通信運搬費													
広告料													
手数料	4		4	4		4							
保険料	1,960	200	2,160	1,960	200	2,160							
13 委託料	220,710	287,584	508,294	76,092	282,984	359,076	4,699	2,600	7,299	2,000	2,000	4,000	
14 使用料及び賃借料	929	37,400	38,329	929	37,400	38,329							
15 工事請負費	3,151,000	1,122,333	4,273,333	2,237,377	971,149	3,208,526	85,748	47,176	132,924	114,020	79,182	193,202	
16 原材料費	266		266	266		266							
17 公有財産購入費													
18 備品購入費	4,998		4,998	4,998		4,998							
19 負担金補助・交付金													
20 扶助費													
21 貸付金													
22 補償補填及び賠償金	1,521,000	1,605,000	3,126,000	1,473,080	1,564,852	3,037,932	12,407	9,533	21,940	8,000	18,000	26,000	
23 償還金・利息・割引料	100,412		100,412	100,412		100,412							
24 投資及び出資金													
25 積立金													
26 寄附金													
27 公課費	12	140	152	12	140	152							
28 繰出金													
計	5,007,845	3,184,627	8,192,472	3,901,684	2,988,695	6,890,379	102,854	59,309	162,163	124,020	99,182	223,202	
財源内訳	国		1,671,041	1,671,041		1,563,280	1,563,280		32,619	32,619		54,550	54,550
	県												
	地方債	2,178,107	100,471	2,278,578	1,413,423	22,100	1,435,523	62,370	23,723	86,093	86,814	39,672	126,486
	辺地債												
	過疎債												
	合併特別債												
	都市計画事業債	2,178,107	100,471	2,278,578	1,413,423	22,100	1,435,523	62,370	23,723	86,093	86,814	39,672	126,486
	その他												
一般財源	2,829,738	1,413,115	4,242,853	2,488,261	1,403,315	3,891,576	40,484	2,967	43,451	37,206	4,960	42,166	
計	5,007,845	3,184,627	8,192,472	3,901,684	2,988,695	6,890,379	102,854	59,309	162,163	124,020	99,182	223,202	
補助率	国	—		—		—		—		—		—	
	県	—		—		—		—		—		—	
補助基本額		—		—		—		—		—		—	

平成24年度予算の状況

<補正予算内訳>

単位:千円

当初予算	242,710	第1回		第4回		第7回	
補正予算	653	第2回		第5回		第8回	653
合計	243,363	第3回		第6回			

単位:千円

事務事業
コード

765111

事務
事業名

麓第一土地区画整理事業

担当部
担当課

建設部
区画整理課

区 分	平成26年度 (計画)			平成27年度 (計画)			平成28年度 (計画)			平成29年度以降 (計画)		
	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
事業内容 事業量	都計道路築造A= 1,585㎡ 区画道路築造A= 4,000㎡ 宅地整地 A=20,000㎡			都計道路築造A= 944㎡ 区画道路築造A= 5,575㎡ 宅地整地 A=20,000㎡			宅地整地 A=23,394㎡					
1 報酬												
2 給料												
3 職員手当等												
4 共済費												
7 賃金												
8 報償費												
9 旅費												
10 交際費												
11 需用費												
消耗品費												
燃料費												
食料費												
印刷製本費												
光熱水費												
修繕料												
12 役務費												
通信運搬費												
広告料												
手数料												
保険料												
13 委託料	5,000		5,000	5,000		5,000	127,919		127,919			
14 使用料及び賃借料												
15 工事請負費	234,000	24,826	258,826	234,000		234,000	245,855		245,855			
16 原材料費												
17 公有財産購入費												
18 備品購入費												
19 負担金補助・交付金												
20 扶助費												
21 貸付金												
22 補償補填及び賠償金	27,513	12,615	40,128									
23 償還金利子・割引料												
24 投資及び出資金												
25 積立金												
26 寄附金												
27 公課費												
28 繰出金												
計	266,513	37,441	303,954	239,000		239,000	373,774		373,774			
財源内訳	国		20,592	20,592								
	県											
	地方債	186,559	14,976	201,535	167,300		167,300	261,641		261,641		
	辺地債											
	過疎債											
	合併特例債											
	都市計画事業債	186,559	14,976	201,535	167,300		167,300	261,641		261,641		
その他												
一般財源	79,954	1,873	81,827	71,700		71,700	112,133		112,133			
計	266,513	37,441	303,954	239,000		239,000	373,774		373,774			
補助率	国											
県												
補助基本額												

事務事業 コード	765111	事務 事業名	麓第一土地区画整理事業	担当部	建設部
				担当課	区画整理課

2 評価の部 <SEE>		評価	評価理由
A 目的妥当性 評価	① 政策体系との整合性 ・この事業の目的は基本事業の意図(基本シートの結果)に結びつくか?	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	土地区画整理事業により、良好な宅地として整備され、結果的にゆとりある宅地を確保できるため、政策体系との整合はとれている。
	② 公共関与の妥当性 ・この事業をなぜ市が行わなければならないのか? ・税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	健全な市街地の形成を行い良好な宅地を供給することと、区画整理事業で発生した保留地を販売することは、麓第一地区の区画整理事業の実施主体である市の役割である。
B 有効性評価	③ 目標達成度 ・整備目標に対して事業は順調に進んでいるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 順調に進捗している <input type="checkbox"/> 遅れている	これまで反対をされていた、大規模地権者の方の理解が得られ、面的整備の進捗が順調に進んでいる。
	④ 廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止又は休止した場合にどのような影響があるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない	廃止・休止の場合、事業に同意しているにも関わらず、未施行となる方が犠牲を被ることとなる。また、事業の精算ができなくなり、最終的には市が肩代わりしなくてはならない可能性も出てくる。
C 効率性評価	⑤ 事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	当地区は、高低差が激しいため、造成に伴う捨て土の処理に多大な経費がかかるため、土処分について流用先を検討し、経費の節減を行う。
	⑥ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して事務事業に係る業務時間を削減できないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある	補償交渉の早期解決に力を入れ、早期完成を行うことで、経費節減や業務時間の削減につながる。
D 公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	地権者からは、区画整理を行うにあたって減歩という形での受益者負担を既にしてもらっている。その保留地の販売を行うことに関して不公平ということにはならない。
総括	(1) 1次評価者(課長)としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直す必要がある	工事コスト削減のため、他公共工事との調整を計り、残土処分費の縮減を図った。また、造成計画(土留壁等)についても関係地権者と協議を行い、整地コスト縮減も図られた。	

3 今後の方向性<PLAN>	
(1) 評価結果にもとづく今後の方向性	(2) 具体的な改善計画 (又は廃止・休止すべきとした場合の理由)
<input type="checkbox"/> 廃止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 休止 [目的妥当性①②、有効性④の結果] <input type="checkbox"/> 有効性改善 [有効性③④の結果] <input type="checkbox"/> 効率性改善(コスト削減) [効率⑤⑥の結果] <input type="checkbox"/> 公平性改善 [公平性⑦の結果] <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持・継続	